

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成28年7月7日(2016.7.7)

【公開番号】特開2016-32701(P2016-32701A)
 【公開日】平成28年3月10日(2016.3.10)
 【年通号数】公開・登録公報2016-015
 【出願番号】特願2015-224504(P2015-224504)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月18日(2016.5.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の遊技媒体を貯留可能な貯留手段と、

前記貯留手段に貯留された遊技媒体を通過口を介して発射位置に送り出す球送り手段と

、

前記球送り手段により前記発射位置に送り出された遊技媒体を遊技領域に向けて一つずつ発射可能な発射手段と、

を具備する遊技機であって、

前記球送り手段は、

金属板材の先端から基端側へ向かって伸びる分割線を挟んで一方側の先端と他方側の先端とが相対的に遠ざかるように前記金属板材の板面に対して前記一方側の先端のみを直角方向へ屈曲させ、基端側へ向かうに従って隙間が狭くなるように形成された不正防止部材を具備し、

前記通過口の開口縁の一部が前記金属板材における前記隙間と連通しており、

前記球送り手段には、前記不正防止部材を収容可能な収容部が形成され、

前記不正防止部材は、前記通過口の開口縁のうち、前記発射位置から発射された遊技媒体の進行方向側の部位に前記隙間が位置するように、前記収容部に収容され、

さらに、前記金属板材における前記直角方向に屈曲していない非屈曲部の面積は、前記直角方向に屈曲している部位の面積よりも大きい

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記通過口は、遊技媒体が通過可能な第 1 開口と、該第 1 開口よりも小さく線材が進入可能な第 2 開口とが連続して形成されたものである、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。